

りゅうかい

2016
No. 276



新春号

謹
賀
新
年



- ◆ 年頭のご挨拶
- ◆ 経理担当者会議 / 沖縄県社会福祉大会表彰式
- ◆ 2016年 申年 年男・年女
- ◆ グループ便り
- ◆ 関連会社社長より年頭のご挨拶
- ◆ りゅうかいスポーツ
- ◆ 事故対応訓練および事故発生時模擬記者会見
- ◆ 大阪支店旅行
- ◆ 経営委員会九州視察研修
- ◆ 大型船組合若手研修会
- ◆ マリンセミナー / 燃料実績報告会
- ◆ RKK2015の主なできごと / 新造船調印式
- ◆ 省エネ・環境に関する講演会 / 第2回沖縄大交易会
- ◆ 人事関連
- ◆ かわいい天使誕生 / ご結婚 / 編集後記
- ◆ 年末年始安全総点検および訪船活動
- ◆ かわいい天使誕生 / ご結婚 / 編集後記

夢とくらしと文化をはこぶ

琉球海運株式会社

琉球海運グループ

沖縄港運株
式会社

宮古港運株
式会社

八重山港運株
式会社

沖縄荷役サービス株
式会社

株 沖縄急送
琉海リース株



俺のま～さんめし飯

一度沖に出てしまえば、携帯の電波もテレビの電波もない船では、食事が大きな楽しみの1つです。なかなか垣間見る事の出来ない船での生活を知るために、司厨長が腕をふるって作る食事を取材したい！あわよくば食べたい！ということで、新しい年にふさわしく、新しいコーナーを始めます。

第1回目は、玉城司厨長のま～さん飯を教えて頂きました。船の食事と言えば、カレーを紹介しなくては始まりません！海軍カレーが有名ですが、我が社の船でも毎週「カレーの日」があるそうで、今回取材に行ったしゅれいは水曜日が「カレーの日」でした。

Q 今回の料理でこだわり・隠し味はありますか？

A ルーは3種類はいれている。飽きないように毎週ルーや肉の種類をかえたりする。ポークを入れるときは、包丁で切ると鍋肌にくつつくので、スプーンでくつって入れている。隠し味はもちろん愛情120%！！

Q 船の上の料理で大変なことは

A しけの時、踏ん張りながら料理をつくるので体力を消耗しながらの料理は大変。でもどうに工夫して、いつも通りのメニューを心がけている。

Q 皆さんに美味しく味わってもらうために日頃行っていることは

A 料理のレパートリーを増やすために、料理本を参考にしたりもする。気になる料理があれば2、3回作って食べた人の反応を見ながら自分なりの味を加え、納得のいく料理にしていく。

～取材を終えての感想～

3種類のルーをまぜてるだけあって、家で作るカレーとは一味ちがいますね。あと、炊飯器で保温されているので、コトコト煮込まれたような出来上がりに。乗組員から圧倒的に人気メニューとは伺っていたのですが、納得の味です！

また、しゅれいは那覇での停泊が毎週水曜と金曜それぞれ4時間半しか無い中で、少しでも新鮮なものを…と、業者に頼むばかりでなく、自分で買い出しに行く姿にプロ根性を見ました！

定番！カレーライス

今回取材に応じていただきました司厨長の玉城さん、ありがとうございました。次回もお楽しみに!!（このコーナーは船員の皆様のご協力で成り立っています。取り上げて欲しい一品がございましたら、ぜひお寄せください。）

*『ま～さん』とは、沖縄の方言で『おいしい』を意味します。



玉城司厨長

●発行所：琉球海運株式会社 企画部 那覇市西1-24-11 TEL(098)868-8165 FAX(098)868-8561 発行日：平成28年1月4日 印刷：潮印刷



代表取締役社長 山城 博美

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。

今年も年の初めに皆様と共に新年を度ぎ、躍進を確認し合える場が持てることを嬉しく思います。

年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。

昨年の業績を振り返りますと、株商船三井殿とのアライアンスを受け、取り分け遠く太平洋を越え北米との輸出入が実現したことに、県内海運人として深い感慨を覚えたのは私一人ではないと思います。又、那覇から香港までの所要日数を四日間に短縮したことでも歴史的な快挙といえます。

陸上の施設面に目を移しますと、五月から西洲定期センターが始動、九月からは鳥栖物流センター倉庫部門の運用が開始されました。

先島航路においては、沖縄ヤマト運輸(株)殿とタイアップし、宮古島のマンゴー滞貨問題を解決、生産農家をはじめとする関係者に改めて海上コンテナにおける輸送能力の高さを強く印象づけることができました。

一方、台風等の影響もあり、鹿児島・先島両航路では苦戦しましたが、会社総体としての取り扱い量は前年を上回る水準で推移しております。その結果、十一月末のバランスは、折からの燃料価格軽減効果も寄与して、今期末における目標クリアに手応えが感じられます。

なお昨年は、二十六年におきた船舶重大事故に鑑み、漏油事故防止キャンペーンを展開すると共に、再発防止を強く意識して船舶安全推進委員会を立ち上げたことに加え、初の船主安全会議を開催したことを特に申し上げておきたいと思います。

さて、これからは今年取り組む必要のある主要な重点施策を申し上げますが、まず、第三十四次造船として老朽化船の代替建造に踏み切ったことを報告いたします。そのスペックはこれまでの建造ノウハウをはじめ社の英知を結集し、技術の最先端を走る

ことから期待に胸が膨らむ思いです。

台湾航路においては、シャーシの相互乗り入れと県内からアジア向け中古車輸送の実現を目指しますが、やはり大事なことは安定したベース・カーゴの確保にかかってきます。

ここ数年に亘り強化してきた陸上物流施設については、更に拡充・整備に努めてまいります。

次に、安全・安心航海については、再び「安全伝統の復活・安全日本一の会社」を目標に掲げ、地道であつてもしつかりやつてまいります。

又、「安全確保」と同様に、完結・終了という言葉と全く縁のない課題が、「人材育成」です。この二つに対する努力を怠る企業は衰退すると言つても言い過ぎではありません。

ところで先日、県は二十一世紀ビジョンに引き続き「アジア経済戦略構想」を策定しました。その大きな柱の一つが「国際競争力のある物流拠点の形成によってアジアの成長を取り込む」ことであります。

これはまさしくわがグループに課せられたテーマだととらえます。私たちは県民に期待され、注目が集まっているのです。各役職員はこの県民の視点・期待を自覚し、わがグループの成長が県の発展にリンクし、地域への貢献に直結するよう業務に精励されて下さい。

結びに、全船舶の安全運航を堅く誓うと共に、グループ十五社が切磋琢磨しながら協力して発展することと、全役職員およびご家族のご多幸を祈念し、挨拶といたします。

平成二十八年一月四日

琉球海運株式会社
代表取締役社長 山城 博美

年頭のご挨拶

沖縄港運株



代表取締役社長
嘉数 昭

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと、未年ということで穏やかな年になつて欲しいと願つておりましたが、儘ならず混沌とした状況で終始した年でした。

世界的にはパリをはじめ中東アジアでテロが多発し、国内においてはデフレ脱却をうたつたアベノミクスも劇的な効果が發揮できず、その後の三本の矢も不発におわった年でした。

その様な中、明るい話題と言えば、年度後半の大村智教授・梶田隆章教授のノーベル賞ダブル受賞とラグビーのワールドカップにおける日本の活躍でしょう。特に、

世界的にはパリをはじめ中東アジアでテロが多発し、国内においてはデフレ脱却をうたつたアベノミクスも劇的な効果が発揮できず、その後の三本の矢も不発におわった年でした。

新しき年、前記のラグビーの精神のもと、グループ十五社ががつちりスクラムを組んで着実に前進してまいりましょう。

また、我が社のことでは恐縮ですが、来る二月一日をもつて創立六十五周年の節目の年を迎えます。それにふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存ですので、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求めるニーズにお応えすべく研鑽怠りなく日々邁進していく所存でござりますので今年も倍旧のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

結びにグループ各社様のご繁栄・ご健勝を祈念し新年の挨拶といたします。

さて、昨年もまた国内外の気象など自然環境は異常事態が頻発、益々悪化してきました。社会環境（政治・経済）も混沌かつ不透明で深刻です。国内の明るいニュースもかすんでしまいますが。このような状況のなか、政府は懸命に諸施策を打ち出し対策に大わらわ、一億総活躍で難局を乗り越えるべく新たな三本の矢を表明しました。その実現可能性の議論は別としてまずは心情的に同調したい、いかがでしょうか。

さて、昨年もまた国内外の気象など自然環境は異常事態が頻発、益々悪化してきました。社会環境（政治・経済）も混沌かつ不透明で深刻です。国内の明るいニュースもかすんでしまいますが。このような状況のなか、政府は懸命に諸施策を打ち出し対策に大わらわ、一億総活躍で難局を乗り越えるべく新たな三本の矢を表明しました。その実現可能

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎え、それが弊社にとって大きく利するものとなるはずです。そのためにも、各方面との関係構築・連携強化を確実に進めることが目下の仕事となるでしょう。



代表取締役社長
砂川 恵映

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見せてきましたが、それでもさまざま計画が進められています。そのためにも、伊良部大橋効果もあり観光事業は大きく成長しています。去年十三航海だった外国クルーズ船の寄港も今年は七十二航海予定されています。

弊社がこうして無事に新しい年を迎えること、琉球海運グループ皆様のご支援のお陰と心から感謝しております。

弊社ではありますが、新米社長としての一年は、手さぐりの中、あつという間に過ぎていきました。会社代表としての仕事だけではなく、各方面より多くの役目を与えられ、この多岐にわたる責務をどうそれにふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

戸惑いといくばくかの遠慮を抱えた日々でしたが、少しずつ自分の役割を実感し、手ごたえを掴みつつあるのも事実です。

今年もご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

企業の不祥事やスカイマークや海運業界五位の第一中央汽船が破綻する等厳しい年となる一方で、北陸新幹線の開通や国産ジェット機三菱MRJの開発、二年連続でノーベル賞を受賞するなど日本の底力を世界に見せ付けた年でもあります。県内では、県知事の「辺野古埋立て承認取消」が提出され、国との対決姿勢が明確になり、今後の動向が注目されています。

この様に社会情勢が目まぐるしく変化する中で、我社は自然災害や事件・事故、景気変動等様々なるリスクに対応できる体制作りを急ぎ、それと同時に『経営理念・基本行動指針』をもう一度周知徹底し、役職員一同行動で示す年にしていきたいと考えます。私達物流業界を取り巻く環境も依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、琉球海運グループの強い団結力で今年も常に上を目指し邁進したいと思います。本年もグループ各社のますますのご繁栄・無事故・無災害を祈念いたします。

日本では台風やゲリラ豪雨等の異常気象に加え、地震・噴火等の自然災害が頻発し、自然の驚異を思い知らされる年となりました。経済界でも大塚家具のお家騒動、東芝の不正会計処理等大

八重山港運株



代表取締役社長
渡久地 明

あけましておめでとうございます。

皆様には希望に満ちた輝かしき年を迎えたこととおよろこび申し上げます。

旧年中のご支援ご指導に琉球海運グループ各社様には厚く御礼申し上げます。

さて、昨年もまた国内外の気象など自然環境は異常事態が頻発、益々悪化してきました。社会環境（政治・経済）も混沌かつ不透明で深刻です。国内の明るいニュースもかすんでしまいますが。このような状況のなか、政府は懸命に諸施策を打ち出し対策に大わらわ、一億総活躍で難局を乗り越えるべく新たな三本の矢を表明しました。その実現可能

沖縄荷役サービス株



代表取締役社長
新垣 益幸

あけましておめでとうございます。

琉球海運グループの皆様には二〇一六年の輝かしき年を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨年は一月のフランス新聞社襲撃テロ事件に始まり、最近のパリ連続テロ事件等世界中でイスラム国によるテロ事件が相次ぎ、二月には日本も標的的にされ、二名が残忍な手口で殺害されました。またウクライナ東部紛争や中国の南沙諸島領有権争い、ギリシャの債務不履行懸念や韓国のMERS感染等一国だけで解決できない問題が山積する年となりました。

日本では台風やゲリラ豪雨等の異常気象に加え、地震・噴火等の自然災害が頻発し、自然の驚異を思い知らされる年となりました。経済界でも大塚家具のお家騒動、東芝の不正会計処理等大

企業の不祥事やスカイマークや海運業界五位の第一中央汽船が破綻する等厳しい年となる一方で、北陸新幹線の開通や国産ジェット機三菱MRJの開発、二年連続でノーベル賞を受賞するなど日本の底力を世界に見せ付けた年でもあります。県内では、県知事の「辺野古埋立て承認取消」が提出され、国との対決姿勢が明確になり、今後の動向が注目されています。

この様に社会情勢が目まぐるしく変化する中で、我社は自然災害や事件・事故、景気変動等様々なるリスクに対応できる体制作りを急ぎ、それと同時に『経営理念・基本行動指針』をもう一度周知徹底し、役職員一同行動で示す年にしていきたいと考えます。私達物流業界を取り巻く環境も依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、琉球海運グループの強い団結力で今年も常に上を目指し邁進したいと思います。本年もグループ各社のますますのご繁栄・無事故・無災害を祈念いたします。

日本では台風やゲリラ豪雨等の異常気象に加え、地震・噴火等の自然災害が頻発し、自然の驚異を思い知らされる年となりました。経済界でも大塚家具のお家騒動、東芝の不正会計処理等大

ラグビーは組織だった競技といわれおり、その素晴らしさを改めて認識しました。

さて、昨年の我が琉海グループの特筆すべき事項と言えば、やはり四月に竣工した三温設定の定温センターでしょう。我がグループが総合物流企业グループとして営業展開をしていく上で海上・陸上ともに充実した設備と機能を有し、荷主様へのきめこまかいサービスを提供する考えのもとにこの定温センターがオープンしたことは、大いに意義があり、心強く思つた次第です。

新しき年、前記のラグビーの精神のもと、グループ十五社ががつちりスクラムを組んで着実に前進してまいりましょう。

また、我が社のことで恐縮ですが、来る二月一日をもつて創立六十五周年の節目の年を迎えます。それにふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求め

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎え、それが弊社にとって大きく利するものとなるはずです。そのためにも、各方面との関係構築・連携強化を確実に進めることができます。この仕事も新しい時代を迎えるものが目下の仕事となるでしょう。

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見せてきましたが、それでもさまざま計画が進められています。そのためにも、伊良部大橋効果もあり観光事業は大きく成長しています。去年十三航海だった外國クルーズ船の寄港も今年は七十二航海予定されています。

弊社がこうして無事に新しい年を迎えること、琉球海運グループ皆様のご支援のお陰と心から感謝しております。

弊社ではありますが、新米社長としての一年は、手さぐりの中、あつという間に過ぎていきました。会社代表としての仕事だけではなく、各方面より多くの役目を与えられ、この多岐にわたる責務をどうそれにふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求め

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎えるものが目下の仕事となるでしょう。

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見せてきましたが、それでもさまざま計画が進められています。そのためにも、伊良部大橋効果もあり観光事業は大きく成長しています。去年十三航海だった外國クルーズ船の寄港も今年は七十二航海予定されています。

弊社がこうして無事に新しい年を迎えること、琉球海運グループ皆様のご支援のお陰と心から感謝しております。

弊社ではありますが、新米社長としての一年は、手さぐりの中、あつという間に過ぎていきました。会社代表としての仕事だけではなく、各方面より多くの役目を与えられ、この多岐にわたる責務をどう

にふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求め

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎えるものが目下の仕事となるでしょう。

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見せてきましたが、それでもさまざま計画が進められています。そのためにも、伊良部大橋効果もあり観光事業は大きく成長しています。去年十三航海だった外國クルーズ船の寄港も今年は七十二航海予定されています。

弊社がこうして無事に新しい年を迎えること、琉球海運グループ皆様のご支援のお陰と心から感謝しております。

弊社ではありますが、新米社長としての一年は、手さぐりの中、あつという間に過ぎていきました。会社代表としての仕事だけではなく、各方面より多くの役目を与えられ、この多岐にわたる責務をどう

にふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求め

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎えるものが目下の仕事となるでしょう。

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見せてきましたが、それでもさまざま計画が進められています。そのためにも、伊良部大橋効果もあり観光事業は大きく成長しています。去年十三航海だった外國クルーズ船の寄港も今年は七十二航海予定されています。

弊社がこうして無事に新しい年を迎えること、琉球海運グループ皆様のご支援のお陰と心から感謝しております。

弊社ではありますが、新米社長としての一年は、手さぐりの中、あつという間に過ぎていきました。会社代表としての仕事だけではなく、各方面より多くの役目を与えられ、この多岐にわたる責務をどう

にふさわしい年となる様、全社員一丸となつて頑張る所存です。そこで、グループ各社の一層の御支援・御協力を宜しくお願ひ申し上げます。

終わりにグループ各社のますますの繁栄発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念して、私のあいさつと致します。

このように経営環境の中、琉球海運の経営戦略（物流拠点の充実化、新規台湾航路の開設等）が効を奏し、グループ各社の実績向上の大きな要因となりました。

当社は、この実績ある経営戦略のボトルネックとならないよう、営業体制の効率化および諸リスクへの対応の見直しを新事業年度の課題として取り組んでまいります。

お客様、グループ各社様の求め

弊社は、今年創立六十周年。平良港は平成二十九年度に新バースの供用が開始されます。港湾の仕事も新しい時代を迎えるものが目下の仕事となるでしょう。

ここ数年、伸び続けてきた公共事業は落ち着きを見

株 沖縄急送



代表取締役社長
富里 正治

新年あけましておめでとうございます。

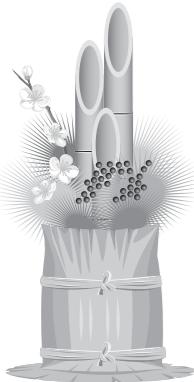
お取引先のお客様及び琉球海運株、並びにグループ各社とその関係各位の皆様には、輝かしい新たなる年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、県経済の景気が好調を維持する中、琉球海運株の台湾航路、物流施設のR I T C、沖縄急送物流センター等の開設が相次ぎ、我が社も琉球海運及びグループ各社の多大なご支援ご協力で好調な取扱実績になり、改めて感謝申し上げます。

昨年の運送業界は東北地方の復興事業や東京オリンピック関連施設等の建設ラッシュの煽りを受け、県内でも運転手不足が生じ、他人事とは言えない大きな経営的課題となつております。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き正月を迎えた事とお慶び申上げます。

二〇一五年は、大手企業による不祥事が相次ぎ、企業のモラルが問われる年でもありました。



株 琉球急便



代表取締役社長
翁 長春雄

②鳥栖物流センターの稼働率をより向上させる。
③現場の安全を徹底する。

以上により、より一層当社の役割を果たすべく、当社に出来ることを精一杯実行し、お客様及びグループに貢献して行く決意です。

皆様のご多幸と、当社および九輪運送に対する倍旧のご指導をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

最後に琉球海運株船舶の安全運航とグループ各社のご繁栄を祈念して新年のご挨拶といたします。

二〇一五年は、大手企業による不祥事が相次ぎ、企業のモラルが問われる年でもありました。

今年の我が社は創立四十周年の節目の年に当たります。今年の十二支となる猿が木々の上を身軽に移動し活発で環境変化に一早く対応できることに倣い、我が社は厳しい経営環境の中、将来を見据えた経営、そして安全作業・運航に徹し、施設の狭隘対策、配達体制の強化や活気ある職場指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、船舶の安全運航と琉球海運グループ各社の益々のご繁栄及び皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

未筆ながら、船舶の安全運航と琉球海運グループ各社の益々のご繁栄及び皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申上げます。

皆様は新年の初詣は何処に行かれたのでしょうか。私は去年の年始には栃木県の日光東照宮にお詣りしました。ご案内の通り、今年の干支は「申(サル)」です。日光東照宮は「見ざる。聞かざる。言わざる」の左甚五郎作「三猿」の木彫りが有名ですが、同宮は徳川家康公を祀った神社で、そのご利益は周囲と共に仕事運・上昇運・勝負運そして生命力の運気向上があると信仰されております。

斯界を取り巻く経営環境が厳しい中、関連会社のご協力が第一では通じたのか弊社の業績は低迷したが、そのお詣り時の祈願が少しある事無く、又、大きな事故も無く無事に年を越え、新年を迎えることが出来ました。

今年の景気情勢は中国経済の減速が懸念され、不安定な要因はあるものの緩やかに回復すると見込まれており、本年は更なる収益増大の年だと捉え、組織見直しなども図り貨物獲得に向けてより積極的に取り組んで行きたいと思っております。

本年もグループ各社のますます

明けましておめでとうございます。グループの皆様には希望に満ちた新年を迎えたことと想います。

明けましておめでとうございます。グループの皆様には希望に満ちた新年を迎えたことと想います。

株 沖縄輸送サービス

代表取締役社長
金城 達雄

さを維持する中、琉球海運株の台湾航路、物流施設のR I T C、沖縄急送物流センター等の開設が相次ぎ、我が社も琉球海運及びグループ各社の多大なご支援ご協力で好調な取扱実績になり、改めて感謝申し上げます。

昨年は、県経済の景気が好調を維持する中、琉球海運株の台湾航路、物流施設のR I T C、沖縄急送物流センター等の開設が相次ぎ、我が社も琉球海運及びグループ各社の多大なご支援ご協力で好調な取扱実績になり、改めて感謝申し上げます。

昨年の運送業界は東北地方の復興事業や東京オリンピック関連施設等の建設ラッシュの煽りを受け、県内でも運転手不足が生じ、他人事とは言えない大きな経営的課題となつております。

昨年の運送業界は東北地方の復興事業や東京オリンピック関連施設等の建設ラッシュの煽りを受け、県内でも運転手不足が生じ、他人事とは言えない大きな経営的課題となつております。

以上により、より一層当社の役割を果たすべく、当社に出来ることを精一杯実行し、お客様及びグループに貢献して行く決意です。

皆様のご多幸と、当社および九輪運送に対する倍旧のご指導をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

最後に琉球海運株船舶の安全運航とグループ各社のご繁栄を祈念して新年のご挨拶といたします。

二〇一五年は、大手企業による不祥事が相次ぎ、企業のモラルが問われる年でもありました。

ますと共に本年が皆様に取りまして素晴らしい年になりますよう、又、グループ各社の飛躍の年になりますよう祈念いたします。

株 九州輸送サービス

代表取締役社長
宮城 茂

新年あけましておめでとうございます。

お取引先のお客様及び琉球海運株、並びにグループ各社とその関係各位の皆様には、輝かしい新たなる年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、県経済の景気が好調を維持する中、琉球海運株の台湾航路、物流施設のR I T C、沖縄急送物流センター等の開設が相次ぎ、我が社も琉球海運及びグループ各社の多大なご支援ご協力で好調な取扱実績になり、改めて感謝申し上げます。

昨年は、県経済の景気が好調を維持する中、琉球海運株の台湾航路、物流施設のR I T C、沖縄急送物流センター等の開設が相次ぎ、我が社も琉球海運及びグループ各社の多大なご支援ご協力で好調な取扱実績になり、改めて感謝申し上げます。

以上により、より一層当社の役割を果たすべく、当社に出来ることを精一杯実行し、お客様及びグループに貢献して行く決意です。

皆様のご多幸と、当社および九輪運送に対する倍旧のご指導をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

最後に琉球海運株船舶の安全運航とグループ各社のご繁栄を祈念して新年のご挨拶といたします。

二〇一五年は、大手企業による不祥事が相次ぎ、企業のモラルが問われる年でもありました。

船舶事故対応訓練および船舶事故発生時模擬記者会見

12月1日に本社会議室で船舶事故対応訓練が行われました。この訓練は年に1回定期的に行われています。今回は「みやらびⅡ」内の冷凍コンテナからの出火を想定し、本社に事故対策本部を設置しその対応にあたるという内容でした。具体的には、船内での消火を試みるも鎮火には至らず、船員は船外退避・船体放棄をするという状況を想定しました。本船からの事故報告、対策本部からの指示、船内での非常時の役割や社外(海上保安庁、保険会社など)への連絡など、事故発生時の対応は詳細に定められており、その一連の流れを改めて確認しました。また、船上での射水訓練も行われ、より実践的な内容となりました。

昨年は北海道沖で船舶の火災事故が発生しており、事故が決して縁遠いものとはいえない状況です。日頃から事故対策への緊張感を保つため、また万が一のときの体制を整えるために重要な訓練となりました。



事故対策訓練の様子



本船と連絡を取り合う三上常務

同日の午後、船舶事故発生に対する模擬記者会見が本社会議室で催されました。これは前出の事故対応訓練との関連で行われたものです。万が一事故が発生した場合には、記者会見を通して社外に事故の状況を説明することは重要な責務になります。

模擬記者会見は毎年行っており内容は年々改善されているとの評価もありますが、一方で毎回新たな改善点も見つかります。今回の課題として、事故発生初期の段階での外部からの問い合わせに対しては、明確に判明し開示できる内容を事前に文書として作成し、各職員が対応できる状態にすべきであるという意見があがりました。また、事故の情報はホームページを通して、プレスリリースとしてこまめに開示していくことが有効であるとの意見も上がりました。また、実際に事故が発生した場合には、事故による経済的損失やその具体的な額、業界や社会に対する影響や責任などの質問にも気を配る必要があります。今後とも、万が一の場合の備えとともに、安全運航への取り組みを続けていきます。



模擬記者会見の様子



記者役の皆さん

年末年始の安全総点検および訪船活動

昨年末も大量の輸送需要が発生する年末年始において、安全作業・安全運航の意識の醸成のために、船舶の安全総点検と訪船活動が行われました。訪船活動は十二月後半に、当社役員によつて六隻全船で実施されました。訪船した役員は一年の大切さや船舶安全推進委員会と傭船の船主安全会議を立ち上げたこと、および重大事故に至らせないためにヒヤリ・ハットを見過ごさず、会社側へそのような気づきを提供してほしいということ、また重大事故再発防止のマニュアルの理解と実施であつたり、安全運航での組みや日頃の確実な



訪船の様子

操練の実施を評価しているとの考え方述べられました。その後の懇談会においては、職員との間で、安全運航のアース対策、老齢船舶の整備に関する意見交換も行われました。この年末年始を機に、改めて日常的な安全運航への意識を高めていきます。

経理担当者会議

十一月四日(金)に琉球海運(株)本社会議室にて、経理担当者会議が開かれました。これは当社及びグループ各社の経理業務のブレーンシップアップを目的としています。今回は「売掛金の管理」がテーマとして掲げられ、当日は琉球海運グループの経理担当者十九名が集まりました。会議内では、公認会計士の田港様からの講義や、グループ各社担当者との間で売掛金管理の状況について意見交換が行われました。また、組織の内部統制や領収証の適正管理についても議題に上がりました。経理担当者は日頃お互に顔を合わせることが少ないので、



会議の様子

各社の実情を把握できる貴重な機会となりました。今後ともグループ全体の経理業務のレベルアップを目指していきます。